

「全国ふれジョブ連絡協議会・法人化検討委員会」（仮称）立ち上げへの呼びかけ

共同呼びかけ人 菅沼美知子
関 ゆかり
(須坂ふれジョブ連絡協議会)

冬本番になってまいりました。各地域でふれジョブにお取り組みのみなさまにおかれましては、ご健勝のことと拝察いたします。

本年8月、新潟での全ふれセミナーにて、世話人および監事のみなさまより、「法人化提案」がありました。また、11月には、HPに「ふれジョブ法人化のイメージづくりについて」も掲載されました。

それを受けてこの度、私たちからみなさまに、標記の呼びかけをさせていただくことになりました。

子どもたちも私たち保護者もふれジョブに出会い、大きな喜びをいただきました。そして、つながることができた地域の方々に見守られて、安心して暮らすことができるようになりました。

そのふれジョブは、今まで私たちの見えないところで、全国ふれジョブ連絡協議会役員のみなさまに支えられてきました。月1回のSKYPE会議で「ふれジョブに関わる諸問題」に取り組んでいただき、年1回のセミナーを開催して、自分たちが1年間行ってきたふれジョブが、「商標登録されたふれジョブ」の趣旨から外れていないかどうかを見直すように、企画して下さいました。

軌道に乗るとつい忘れがちになりますが、活動を始める前には、何度も情報をいただいたHPの運営も新しく始めたいと思う仲間の為に継続して下さいます。また、西先生は退職されて、今でもふれジョブの種蒔きをしながら、無償で全国を訪ね、法人化についてのご意見を聞く旅を続けておられます。

この全国ふれジョブ連絡協議会を今後どのように運営するか、全国でふれジョブをなさる皆様のお力を集めるため、全国から検討委員を募り、ふれジョブの今後のあり方について検討したいと思っております。

どうぞ、皆さまの積極的なご参加をよろしくお願いいたします。

記

1. 立ち上げの目的

今後2年をかけて、全国ふれジョブ連絡協議会（現在は任意団体）を法人化することを検討し、より活動の継続に資する形を決定し、その実務を担う。

2. 委員会の活動

- ① 全国から法人化の主旨に賛同し法人化に向けた実務を担うことのできる委員を募り、委員会を組織する。
- ② 年2回、組織された構成員からなる検討委員会を開催し、法人化に向けた協議を行い、その進捗を全国の構成員に発信する。

3. 委員会の運営

- ① 全ふれセミナー（2017年は愛知県、2018年は未定）でそれぞれ1回、行政及び一般財団からの助成を受けることができれば、追加して2017年1回、2018年1回（東京）、会議を開催する。
- ② 検討資料は、HP掲載の「ふれジョブ法人化のイメージづくり」に基づいて協議を行う。

4. 委員会の組織

- ① 検討委員会は、全国幅広く募り、全ふれ役員が委託した10名以内の委員から構成する。
- ② 委員会の事務局を新潟県に置き、全ふれ法人化検討委員会事務局を担う。
- ③ 検討委員会は、2017年3月中までには組織化し、新年度から2年間、協議を開始する。

5. 法人化検討委員会に参画したい方は、全国ふれジョブ連絡協議会 info@prejob.jp まで、ご連絡ください。応募多数の場合は、全国のバランスを考慮しつつ役員会の審議にて決定させていただきます。